

## バーチャル PPA の太陽光発電所に対する ノンリコース型のプロジェクトファイナンス契約を締結

オリックス銀行株式会社（本社：東京都港区、社長：錦織 雄一）は、本日、PHOTON CAPITAL 合同会社（本社：東京都渋谷区、代表者：水野 優子）が運営する PHOTON サステナブルソーラー投資事業有限責任組合<sup>※1</sup>の投資先である SPC（以下、「PHOTON」）との間で、バーチャル PPA（仮想電力購入契約）に関するノンリコース型のプロジェクトファイナンス契約を締結しましたので、お知らせします。

バーチャル PPA は、太陽光発電などの再生可能エネルギーで発電した電力について、電力とその電力が持つ環境価値<sup>※2</sup>を切り離し、環境価値のみを売買する取り組みです。環境価値を購入する需要家は、従来と同じ契約先の電力を使用しながら、脱炭素の効果を得ることができます。

今回の取り組みでは、最終需要家である大手日系メーカー向けに、PHOTON がバーチャル PPA 契約に基づき、年間約 16,000 トンの CO<sub>2</sub> 削減に相当する環境価値を提供します。

環境価値の創出のため、PHOTON は計 7 カ所（合計約 20MW）の太陽光発電所を新設し、オリックス銀行は太陽光発電所を対象としたノンリコース型のプロジェクトファイナンスを実行します。また、アグリゲーターとして、電力の管理業務（発電予測・計画値同時同量管理業務・電力取引業務）を電源開発株式会社が担当します。

当社は、中期的な経営戦略の重点施策として、太陽光発電事業などの再エネ分野向けのプロジェクトファイナンスを推進しており、2023 年にはバーチャル PPA の太陽光発電所に対するノンリコースローンを初めて実行<sup>※3</sup>しました。本件は 2 件目の取り組みであり、2024 年度中に 800 億円の融資実行を目指しています。

オリックス銀行は、今後もファイナンス面での支援を通じて、再エネマーケットの拡大につながる先進的な取り組みを支援し、気候変動対策などの社会課題の解決に貢献していきます。

※1 石油資源開発株式会社、JA 三井リース株式会社、中央日本土地建物株式会社の 3 社が有限責任組合員となり、2021 年 9 月に設立。

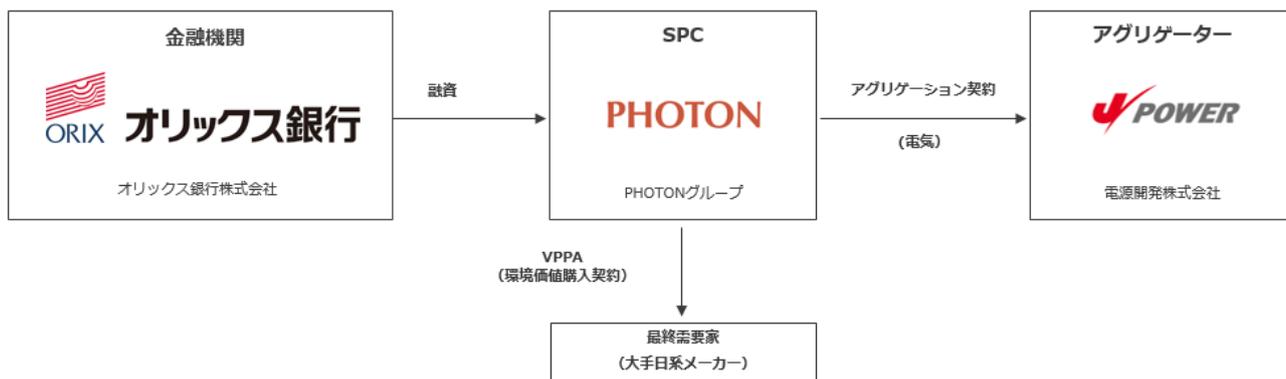
※2 再エネで発電した電力が持つ、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を排出しない付加価値のこと。

※3 [2023 年 11 月 8 日付プレスリリース：太陽光発電所におけるバーチャル PPA のアグリゲーションサービス契約の締結](#)

以 上

<報道関係者からのお問い合わせ先>  
オリックス銀行株式会社 経営企画部 TEL：03-6722-3630

■ 本件スキーム図



■ 会社概要

PHOTON CAPITAL 合同会社

会社名	PHOTON CAPITAL 合同会社
所在地	東京都渋谷区渋谷二丁目 15 番 1 号 渋谷クロスタワー13 階
代表者	水野 優子
資本金	1,020 万円
事業内容	再生可能エネルギー発電関連事業開発及びファンド運営

電源開発株式会社 (J パワー)

会社名	電源開発株式会社 (コミュニケーションネーム: J パワー)
所在地	東京都中央区銀座六丁目 15 番 1 号
代表者	菅野 等
資本金	1,805 億円
事業内容	電気事業

・ [2024 年 7 月 5 日付プレスリリース: 北海道・東北・中国エリアの新設太陽光発電所におけるバーチャル PPA に係るアグリゲーションサービス契約の締結 \(電源開発株式会社、PHOTON CAPITAL 合同会社\)](#)

■ 当社のこれまでの再生可能エネルギー向けファイナンス取組

- ・ [2021 年 8 月 19 日付プレスリリース: 当社初、メガソーラーへ「グリーンローン」を提供](#)
- ・ [2023 年 11 月 8 日付プレスリリース: 太陽光発電所におけるバーチャル PPA のアグリゲーションサービス契約の締結](#)